

第 93 回番組審議委員会議事録

日時：令和 3 年 7 月 7 日（水）13 時 30 分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原 2 丁目 10 番 20 号）

1. 委員総数 9 名
2. 出席委員数 5 名
3. 出席委員の氏名
遠藤芳幸 委員長・和久田恵子 副委員・稲葉美津江 副委員・安藤滋 委員・内藤佑樹 委員（順不同）
4. 放送事業者出席者名
小沢教司 常務取締役・山本茂 統括部長

遠藤芳幸委員長：ごあいさつ

今日は 93 回目ということでよろしくお願ひ致します。

小沢常務取締役：ごあいさつ

皆様には 16 期の決算報告をしましたが、最後の方で色々な物を購入した関係で前期より若干落ちましたが、12 期連続で利益が出ています。今年は、今まで年間 500 万位の予算がおりていたクールチョイスという事業がなくなり厳しい面もありますが、赤字は出さないよう初心に戻って頑張りたいと思います。

前回の報告

山本： 前回審議いただいたのは「地元密着戦隊NORAダラー」です。津田製紐でのインタビューで、現場に行き出演者が従業員にインタビューを行ったものでした。現場に出向くことで臨場感があつたかと思ひます。現場に行くと音だけでも空気感が伝わると思ひます。審議内容はホームページにも掲載されているのでご覧ください。今後の番組にも役立っていきたくと思ひます。

番組審議

- ・テーマ 番組「お茶の時間ですよ」
- ・放送日時 2021 年 6 月 7 日（月）毎月第 1 月曜日 10：05～10：25 OA 生放送
- ・出演 ナビゲーター 伊藤慶/佐野裕美
ゲスト 稲葉やすひろさん/渡辺節子さん
- ・番組編成制作方針、説明
- ・質疑応答

山本：今回審議いただくのは毎月第1月曜10:05～放送している「お茶の時間ですよ」というエフタイムスの中で放送されている20分のコーナーです。出演者は番組ナビゲーターの伊藤慶さん、佐野裕美さん、そしてゲストとして地元演歌歌手の稲葉やすひろさんとマネージャーの渡辺節子さんです。

小沢：稲葉やすひろさんは信用金庫時代のお客さんで、50代で歌手になった方です。現在は全国のホテルなどを回って歌っています。曲の中には三木たかし作曲、阿久悠作詞の歌もあります。以前稲葉さんから番組を持ちたいという話があり、今回スポンサーを2社つけて昨年からはじまりました。地元のことを歌った「お茶だお茶だよ茶の香り」という歌もあり最近はこの歌に力を入れています。

山本：このコーナーは10時台ということで、ドライバーズゾーンよりもリスナーの年齢層が上がり、地元演歌歌手の歌をじっくり聴いていただくというようなコーナーになっています。今回は6月7日に放送されたものをお聴きいただきます。

約15分後

遠藤委員長：それではご審議いただきたいと思います。

稲葉副委員：お茶の時間ですよという感じのすごくのんびりとした感じが良かったと思います。稲葉さんの若々しい声を聴いて、同年代のリスナーさんも元気をもらえるのではないのでしょうか。また、伊藤慶さんのやわらかい声がティータイムに合っているような感じがしました。

和久田副委員：とても地域性があったと思います。タイトルが「お茶の時間ですよ」なので、せつかくならもう少しお茶の話があってもいいと思いました。

稲葉さんのみならず富士市が推しているアーティストなどが出る番組がもっとあるといいですね。

山本：基本的には音楽をやっている方が多くはなりますが、プロアマ問わず積極的に出ています。結花乃さんも良く出られていますし、スケジュールが合えば、レギュラーで出いただくような番組を積極的に放送出来たらと思っています。

和久田：地元の人を応援しているコーナーということなので、こういった方が出るコーナーに対してはスポンサー料を安くすればもっとスポンサーが付きやすいのではないかと思います。また、オープニングで使われていたリコーダーの曲の感じもすごく良かったので

すが、これは何の曲でしょうか？

山本：これはディレクターがこのコーナーに合ったものを選んだと思われます。

和久田副委員：雰囲気よかったので、例えばそういう BGM も地元の人のもを使うとより地域性が出る気がします。

内藤委員：みなさんおっしゃっていたようにお茶の間感がでていて良かったです。ゲストさんもリラックスして自然な感じが出ていたと思います。また、今回流れたライブの音源はこういう場でしか聴けないと思うので良かったです。

安藤委員：タイトルから見て、お茶ありきの番組だと思ったのですがお茶の紹介が案外少なかったのもっとあってもいいと思いました。稲葉さんが出ている番組ということを知ってもらうために、タイトルの頭に「稲葉やすひろの」と名前を付ければ知合いが聴いたりファンがもっとついたりするのではないかと思います。

遠藤委員長：このコーナーは稲葉さんしかゲスト出演されないのでしょうか？

山本：稲葉さんのためのコーナーなので、ゲストは稲葉さんとマネージャーの渡辺さんのみです。

遠藤委員長：それでは尚更コーナー名に稲葉さんをつけた方が良くもありませんね。

稲葉副委員：カネミ製茶さんはお茶街道祭りの際にも稲葉さんに歌っていただいているので、かなり昔から応援されているのでしょうかね。

和久田副委員：地域性のある番組というのはすごくいいと思います。富士市富士宮市全体で、応援していけたら良いですね。ただ先程もありましたがタイトルが「お茶の時間ですよ」だったのでもう少しお茶に触れてもいいと思いました。是非その辺も検討していただければと思います。

山本：コミュニティ放送局なのでリスナーの年齢層も高いのですが、年齢層が高いリスナーに向けて、もしこういった番組があったらいいのではないかということがあればご教示いただきたいです。

稲葉副委員：以前友人と話した時に、若い頃に聴いていた曲を聴くと若い時の気持ちに戻

れると言っていたので、そういった当時の思い出が蘇るような曲をかけるといいと思います。そしてリスナーからの思い出も一緒に募集したら色々エピソードが出てくるのではないかと思います。

遠藤委員長：結構BS放送ではこういったものをやっていて、それを見ると懐かしく感じますよね。

和久田副委員：ラジオエフでも前そういった番組がありましたよね。

山本：以前やっていましたが10年目の改変のタイミングで終了しました。そういった懐かしい感じの番組は現在金曜の午前中に放送しています。伊藤慶さんが昔の歌謡曲やアイドルの曲をかけたいと言っていたので、いつかやりたいと思っています。

内藤委員：僕はレコードにハマっているのですが、そういう話をすると商店街の店主がレコードをあずけてくれることもあります。店主が何人か集まったときにそういったエピソードトークで盛り上がったので、みんなが思いを通わせるような青春エピソードをリスナーから募集したら共感を得られると思います。あとは最近セカンドライフ送っているような人がそば教室にハマっているというような話を聞きます。店にも大人になってからの習い事関連グッズを買いに来るお客さんが多いです。ラジオにもそういった人気の習い事の講師を招いてトークする番組があっても面白いと思います。

和久田副委員：スポーツジムに行くと60代70代でエアロビをやっている人が結構いますが、エアロビでは今時の曲を聴きながら体を動かしている人も多いです。

山本：ジャンルや年代で区切るというより、極性で分けた方がしっくりくるのかもしれないですね。では今日はこの辺で終わりにしたいと思います。

小沢：次回は9月15日水曜日を予定しています。

山本：今日もありがとうございました。